

社会資本整備審議会都市計画・歴史的風土分科会歴史的風土部会
明日香村小委員会報告（案）に関するパブリックコメントの概要
及びこれに対する対応等について

- 実施期間：平成26年11月18日（火）～平成26年12月1日（月）
- 告知方法：国土交通省HP等に掲載
- 意見提出方法：電子メール、FAX、郵送
- 意見提出件数： 9 通

1. 頂いたご意見の内容について

小委員会報告（案）に関して頂いたご意見等を内容で区分すると、以下の通りでした。

パブリックコメント ご意見数 総計 9 通

うち	(1) 小委員会報告（案）の内容に関わるご意見	20 件
	(2) 小委員会報告（案）全般に対する感想、賛意 今後の施策展開に関するご意見・ご提言	8 件

※上記（1）～（2）の分類は、頂いたご意見を内容で分割し、それぞれ件数にカウントしております。
このため、各々の件数の総計は頂いたご意見数と一致していません。

2. 「小委員会報告（案）の内容に関わるご意見」に対する見解・対応等について

※ 報告（案）に関して頂いたご意見について、報告書の具体的な記述に関わるものについて、「主な御意見」として整理を行っております。

1. はじめに	
主 な 御 意 見	見 解 ・ 対 応 等
(特段のご意見なし)	
2. 明日香村を巡る現状とこれまでの取組みの評価・課題	
(1) 明日香村の現状	
主 な 御 意 見	見 解 ・ 対 応 等
(特段のご意見なし)	
(2) これまでの取組みの評価・課題	
1) 制度導入から第3次明日香村整備計画までの取組み	
主 な 御 意 見	見 解 ・ 対 応 等
(特段のご意見なし)	
2) 第4次明日香村整備計画に基づく取組みの進捗状況	
主 な 御 意 見	見 解 ・ 対 応 等
○P5L7「市街化調整区域における規制緩和3地区」について、周辺の状況との調和などの条件が付加されて行われたはずであるが、開発が求められて単純に規制緩和を行ったように聞こえるので違和感がある。	【一部修正】 ○指摘を踏まえ、「集落単位の景観計画を前提とした開発許可に関する条例により、集落の景観と調和した新たな住宅が建築された」としました。

3) 明日香村歴史的風土創造的活用事業交付金の成果	
主 な 御 意 見	見 解 ・ 対 応 等
(特段のご意見なし)	
3. 当面取り組むべき施策のあり方	
(1) 当面の取組みの方向性	
主 な 御 意 見	見 解 ・ 対 応 等
(特段のご意見なし)	
(2) 当面の施策のあり方	
主 な 御 意 見	見 解 ・ 対 応 等
<p>○P8L3「世界基準に準じた」は「世界基準」がどのようなものがよく分からないので文中で補足を入れてほしい。</p> <p>○生活道路の整備に重点を置きつつ、飛鳥駅から車道に沿って、思い切った広い自転車道・歩道やポケットパーク、トイレの整備、及びパークアンドライドの導入の検討も必要。</p> <p>○農の再生には観光農園など若者が農に関わるきっかけができる場の提供も今後の課題と思う。</p>	<p>【一部修正】 ○指摘を踏まえ、「外国人にも理解されるような明日香の価値の見せ方、発信方法を工夫する」としました。</p> <p>【原文を維持】 ○P8L7～9 に示すように、超小型モビリティやレンタサイクルの活用に向け、観光情報を得ながら楽しく周遊ができるよう、自転車道・歩道の安全性や機能を高めつつ、ポケットパークやトイレ等の休憩施設の整備などを検討していくこととしています。</p> <p>【一部修正】 ○指摘を踏まえ、P8L15～16 について、「国内外の中高生などが明日香村の歴史・遺跡・風習などの話を聞くことができる農家民泊や教育旅行を推進する」としました。</p>
(3) 当面の支援のあり方	
主 な 御 意 見	見 解 ・ 対 応 等
(特段のご意見なし)	

4. 将来的な取組みのあり方に向けた今後の議論の方向性	
(1) 明日香村の将来像	
主 な 御 意 見	見 解 ・ 対 応 等
<p>○明日香村を議論する際には、飛鳥時代とその遺跡、昭和40年代の風景の保存の2つの視点で議論しがちである。しかし、明日香村の形は江戸時代の門前町から、昭和にかけて少しずつ発展してきたと考えるべきであり、その時間軸から今後のまちづくりのあり方を考えていくと、広がりが出る。</p> <p>○厳しい規制の継続は、観光客には感動を与えるが、住民の生活を息苦しくしている。どこを厳かに守り、どこを発展させるのかを明確にし、具体的に目に見える将来像を示すべき。例えば、市街化区域である飛鳥駅を中心とした玄関口は、規制を緩和し、ホテルや店舗等の立地を促すことも検討すべき。</p>	<p>【原文を維持】</p> <p>○P11L12～13 に示すように、明日香村の歴史的風土は、農林業等の地域の産業をはじめとする村民の日常的な生活の中で保存され育まれてきたものであり、また、P10L11～14 に示すように、村民が暮らす場として、農業や祭祀などこれまで受け継がれてきた生活を再認識し、村民自身が誇りと自覚をもって生き生きと暮らせるビジョンを持つことが必要だとしています。</p> <p>【原文を維持】</p> <p>○飛鳥駅を中心とした玄関口は、観光来訪者を出迎えるための拠点として、総合案内施設や農産物直売所、超小型モビリティのレンタル施設などを設置しているところです。更に、P10L24～27 に示すように、歴史的風土保存のための土地利用規制のあり方については、将来的な取組みの基本的方向性を含めて検討を進めるべきであるとしており、具体的内容については、今後継続的に議論が進められることとなります。</p>
(2) 将来的な取組みの基本的方向性	
主 な 御 意 見	見 解 ・ 対 応 等
<p>○明日香村は古代史の舞台であるとともに郷愁を感じる風景が広がっており、現在でも発掘調査がなされているという状況も踏まえ、村中心部における遺構の復元整備については、情報通信技術の活用にも留意し、意義を明確にし、慎重に行ってほしい。</p> <p>○高松塚壁画館および模写壁画は、歴史展示の重要な役割を担うべきものであり、高松塚古墳壁画の保存管理・公開に関する検討に際しては、関連施設の役割分担や有機的連携を担う対象として加えるべきではないか。</p>	<p>【原文を維持】</p> <p>○飛鳥宮跡中心部については、P11L18～19 に示すとおり、現地でスケール感を体感できる歴史展示の実現に向け、引き続き、整備に向けた検討を進めるべきであるとしており、具体的進め方については、今後継続的に議論されることとなります。</p> <p>【原文を維持】</p> <p>○高松塚古墳壁画については、P11L20～25 に示すとおり、壁画修理後の古墳現地の扱いや、壁画・石室の当分の間の保存管理・公開の方法、場所等については、引き続き検討を行うことが必要とされており、その議論を踏まえつつ、今後検討を進めるべきであるとしており、具体的内容については、今後継続的に議論が進められることとなります。</p>

○申し出に基づき権利救済の観点から運用してきた買入地について、積極的な利活用、場合によっては売却や交換分合などの有効活用も検討できないか。

○飛鳥時代には、法隆寺建立等に近隣の良い杉・桧を用いられたことから、明日香地域の森林には相応の針葉樹が含まれていたことが推察される。広葉樹を中心とした森林に転換する際は、歴史的景観も考慮しつつ、検討していくことになるのではないか。

○飛鳥に関する児童・生徒への教育やPTAへの周知・啓発は、やがて美しく厳かな飛鳥の人づくりにつながり、守ることが住民の誇りに繋がると思う。保全と発展の両輪と教育がそろって、飛鳥は将来とも守られていく気がする。

○空き家対策もあるが、どのような人が明日香村でどのような生活を送り、理想的な村となっていくのか、というイメージがほしい。

【原文を維持】

○買入地の維持管理および活用に関しては、ご指摘の内容も踏まえながら、P11L32~34 に示すとおり、古都全般に関わる問題として明日香村の特殊性を考慮した上で検討を進めるべきであるとしています。

【原文を維持】

○P11L35~36 に示すように、明日香村に相応しい姿となるよう検討を進めるべきであるとしており、具体の進め方については、今後継続的に議論されることとなります。

【原文を維持】

○子どもたちへの教育については、P12L23~26 に示すとおり、地域学を推進する中で住民としての誇りや愛着を育て、将来の担い手確保につなげるという視点で検討を進めることとしています。

【原文を維持】

○明日香ならではの住まい方のイメージについては、P12L28~35 に示すとおり、農業や観光業だけでなく多様な産業に従事しながら、村の担い手が暮らし育つことにあるとしています。また、P12L36 において、その明日香ならではの住まい方を外部に向けて発信するための検討を進めるべきとしています。

3. その他のご意見の内容

- ※ 報告（案）に関して頂いたご意見のうち、2.に記載した「報告（案）の修正意見に関するもの」以外のご意見を、
- ・報告（案）に賛意を示すもの
 - ・報告（案）をうけた施策展開にあたっての参考意見に関するもの
- の、2種に区分し、同趣旨の意見をまとめたものを掲載しております。

御 意 見 の 内 容
報告（案）に賛意を示すもの
<p>○5年間の取り組みがきちんとレビューされ、委員会の議論でも今までではなかった議論もなされており、今後期待が持てる。</p> <p>○現状を踏まえた今後の取組の方向性について、大変網羅的などりまとめがなされている。本内容に基づく具体的な取組の実施について、大いに期待したい。</p>
報告（案）をうけた施策展開にあたっての参考意見に関するもの
<p>○明日香村整備基金の運用益が低いとあるが、株式等のリスク資産に対する運用を積極的に行っていないからではないか。株式等のリスク資産への運用拡大を検討すべき。</p> <p>○村中心部における遺構の整備（復元）を行う際には、その過程についても積極的に公表し、関心を得る機会とするよう努めるべきである。</p> <p>○森林の再生には、明日香らしい「木の香りする住宅（健康住宅）」や「バイオマス」などを推進し、スマートタウン化することも検討課題である。</p> <p>○若者の流出防止や多世代が住まう住宅地の存続のため、古い住宅内部は、可能な限り近代化（バリアフリー化）できるようにすることが必要。</p>